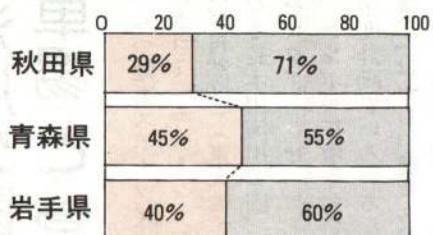


◇通学の希望について (短大志望女子生徒対象)

単位・%

■自宅通学 ■自宅外通学



◇志望校決定で重視する点

単位・人

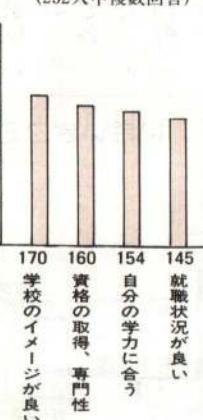
3県全体

(330人中複数回答)



秋田県

(252人中複数回答)



高等教育機関の 空白地解消めざす

北東北三県には三十校の高等教育機関があります。このうち秋田県は大学二校と短大五校、学生数六千九百八十四人(平成三年四月)で、青森県の十四校、一万三千五百六十六人、岩手県の九校、八千九百人に比べ少ないのが現状です。また、大館地

で四五%、岩手県が四〇%となっているのに対し、秋田県では二九%にとどまっています。自宅外通学を希望する理由は「進学したい学校が圏外にある」がトップ。以下、「自宅を離れて学生生活を送りたい」、「希望する学部学科がない」となっています。全体的に、自宅を出たいという傾向は見られるものの、秋田県の場合は「圏外にある」と「希望する学部学科がない」を合わせると五四%、地元に魅力ある学校が少ないともいえそうです。また、秋田県では「推薦入学できる学校がない」という回答が一〇%ありました。

秋田県の場合は「分からず」、「大館地域を知っていますか」という設問では、「知っている」が秋田・青森両県は約半数なのに対し、岩手県では二〇%でした。地域のイメージについても、岩手県の高校生は「分からず」が七八%と高い数字を示しています。また、進学希望地域についても、秋田県は地元三八%と低くなっていますが、青森県は八二%、

秋田県は地元三八%と低くなっていますが、青森県は八二%、岩手県では三〇%ですが、青森県は二〇%と高い数字を示しています。大館短大が開校したと想定した場合、「進学を考えてもよい」とするのは秋田県で四三%、岩手県では三〇%ですが、青森県は二一%ですが、青森県四八%、

岩手県三〇%と県外からの関心が高くなっています。大館短大を志望する際に重視する点については、三県とも「教育内容」がトップで、学校のイメージを重視する一方で、資格の取得やカリキュラムの充実を求める傾向がうかがえます。

同盟会では、今回の結果を踏まえて、県や秋田経済法科大学側に大館短大の設置学科等について、さらに要望を続け、早期開校を目指します。また、県外志向生徒の地元入学と県外生徒の大館への誘引を進めるため、イメージの良い、カリキュラムの充実した魅力あるキャンパスづくりと、大館そのものを県内外に知つてもらえるようPR活動を進めていく方針です。

岩手県では六六%が地元進学を希望しています。

志望校決定の際に重視する点については①学校のイメージが良い②資格の取得や専門性が身に付く③自分の学力に合う――

の順になっています。短大を志望している女子生徒の志望学科は、去年と同じく「看護・医療技術」がトップ。続いて「外国語」「保育・教員養成」「文学・人文学」の順になっています。

県外で薄い 大館のイメージ

◇大館について

(大館地区高校は除く)

大館の認知度

■知っている
■知らない

秋田 青森 岩手

大館のイメージ

■良い
■分からず

秋田 青森 岩手

大館への進学意向度

■考へてもよい
■考へない

秋田 青森 岩手